

路線バスに表示する広告物に関する自主審査実施報告書

年 月 日

川西市長 様

報告者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話（ ） －

路線バスに表示する広告物に関する自主審査実施要綱5の規定により、次のとおり自主審査実施報告をします。

車 両 番 号						
主 な 路 線						
表 示 期 間		年 月 日 ～ 年 月 日				
広 告 内 容						
自 主 審 査 日						
審 査 内 容	項 目			審査結果		
	広告物の位置、形状、面積、材料、色彩、意匠等を周囲の景観と調和したものとする					
	蛍光塗料（蛍光フィルムを含む。）又は反射光の強い塗料を使用しないこと					
	ガ イ ド ラ イ ン ア ウ ト	色 措 置	彩度：高彩度色を用いる場合は、周囲の景観に配慮する			
			面積：色彩の印象が適切なものとなる面積とする			
			色数：適正な数とする			
			色の組合せ：高彩度色の組合せを適切なものとする			
			地（商品名や商品写真以外の部分）が高彩度色にならないようにする			
				地に高彩度色を用いる場合、地色を同一又は類似の色相の範囲とし、図色は白などの無彩色とするなど適切なものとする。		
				地に高彩度色を用いる場合、同一あるいは類似の色相を広告面全体の基調とし、それ以外の色はアクセント程度の小さな面積とする		
				地に高彩度色を用いる場合、色数を少なくするとともに、図色も含めた広告面全体をシンプルなデザインとする		
				地に高彩度色を用いる場合、有彩色同士の距離を置き、白などの無彩色を挟み込む		
			レ イ ア ウ ト	措 置	統一感のある印象を与えるレイアウトとする	
	車体の形状を考慮したレイアウトとする					
「メイン」と「サブ」の関係を明確にする						
表示項目の適度な間隔、適度な大きさの変化によりゆとりを持たせ、全体のまとまりを出す						

項 目				審査結果
審 査 内 容	ガ イ ド ラ イ ン	レ イ ア ウ ト 措 置	同一の絵柄を複数配置する場合などは、表示項目の配置に適度な間隔を持たせ、適度な大きさの変化をつけることにより、ゆとりを持たせ、全体の印象に統一感を与える。大きく表示した商品を隙間なく連呼するような手法は、圧迫感を与える	
			不統一な印象を与える表示のレイアウトを避ける	
			広告表示面全体の視覚的イメージに統一感をもたらすようにする	
			ホイールハウスに絵柄が切り取られることによって、不自然なものにならないようにするため、デザイン作成の当初から広告が表示される車体の形状に配慮する	
			バスの車体には、車番などの本体表示されているサインがあり、その周辺に表示項目を配置することは避ける	
	感覚を混乱させ、生理的・心理的に安定を損なう印象を与えるデザインは避ける			